



お客様専門
情報誌

だより

< 第36号 >

東杏印刷は医療現場を支える皆様・患者様にとっての快適な医療空間づくりをお手伝いします

発行所



TOKYO PRINTING CO., LTD.

東杏印刷株式会社

〒178-0063

東京都練馬区東大泉2-11-4

TEL 03-3923-1101(代)

FAX 03-3923-1109

あんずだより編集部

http://www.tokyop.co.jp

スマートフォン専用



あんずだよりの
バックナンバーが
ご覧頂けます

集ム 特コラム お手元の製品に正しい 抗菌加工しませんか？

株式会社トーツヤ・エコー様

病原性大腸菌O157が猛威をふるった1996年夏頃から「抗菌」に対する意識が変わってきました。私達が日常で扱っている紙製品・プラスチック製品にも抗菌対策が求められています。今回のあんずだよりでは製品本来の美しさをそのままに、抜群の抗菌力を有する株式会社トーツヤ・エコー様のレジステック抗菌加工をご紹介します。

仕上がり美しく菌にも強い 『レジステック抗菌加工』

近年、私達の生活の中で「抗菌加工商品」を目にする事が多くなりました。皆様もご存知かと思いますが、抗菌とは、製品表面の細菌増殖を抑制することや、菌を長時間増やさないようにすることを言い、菌を一時的に死滅・除去する殺菌・除菌とは区別されます。

しかし「長い間菌と共に暮らしたのになぜ抗菌が必要なのか？」と抗菌の必要性に対する疑問を多くの人が感じているかもしれません。

細菌による人間への悪影響は、その細菌がある量を超えて大量に増殖した場合に起きる事がほとんどです。

日本は微生物が生育・繁殖しやすい温暖湿潤性気候で特に夏季は適度な栄養源さえあれば菌は大繁殖しかねません。更に現在の生活環境は夏期に限らず、冬期でも暖房等が完備されているため、室内は常に菌が繁殖し

ここで紹介するレジステック抗菌加工はそんな細菌に対して、どのような効果を発揮しているかと言いますと、一般的評価菌とされている大腸菌・黄色ブドウ球菌・MRSA(他剤耐性菌)の3菌のみでなく、病原菌といわれる緑膿菌・腸炎ビブリオ・サルモネラ菌・赤痢菌・コレラ菌に対しても、抗菌効果を確認しており、もちろん最近話題になっている大腸菌(O157)に対しても効果が広範囲に及びます。更に無機系の抗菌剤を使用しているため、非常に安定性に優れ、熱にも強く、水や溶剤などによって溶出することはないと、抗菌作用は長期にわたって持続します。

以上のことから抗菌効果に対しての有用性はご理解頂けるかと思いますが、一番考えなくてはならない問題、それが人体に対しての安全性です。

一般的に用いられる抗菌加工剤の種類は多く、医療品・医療用具・化粧品・農薬などに使用されている抗菌剤も転用されており、これらの抗菌剤により、皮膚かぶれなどの健康被害が起きた事例も確認されている事を耳にします。中には体に必要な常在菌までも殺菌・除菌してしまうこともあろうかと思えます。菌を防いでも人体に影響が

① 経口慢性毒性検査

究極の毒性検査とされるもので、ラットとマウスに2年間連続投与した結果、発癌性もなく、病理学的にも安全である事が立証されました。(1994年)

② 変異原性試験

大腸菌やサルモネラ菌に突然変異が発生しないかのテストで、突然変異誘起性は陰性と認められました。

③ 皮膚一次刺激性試験

皮膚や体に触れた場合の安全性についての試験です。ウサギにおける皮膚塗布の結果、刺激性はないと結論が出ました。

④ 細胞毒性試験

銀ゼオライトの動物細胞に対する細胞毒性試験。結果、細胞毒性は非常に弱いと判定されました。

⑤ ラットの吸収および分布、排泄試験

放射性銀を使用して調整した銀ゼオライトをラットの背部に投与。結果、銀の吸収は認められ

ませんでした。ただ抗菌剤を混ぜれば良いというものではありません。他業者がもし抗菌剤をお勧めするようなことがあれば、ご確認ください。

あらゆる角度から見て、現在の私達の生活には「抗菌を考慮すること」が必要ではないのでしょうか。

抗菌加工商品の マークについて



抗菌加工された製品にはこのようなマークがあります



レジステック抗菌加工の主な使用用途



株式会社トーツヤ・エコー 会社概要

商号 株式会社トーツヤ・エコー
所在地 埼玉県戸田市世目北町13番地の2
設立 昭和62年10月

事業内容
・印刷及び印刷物の総合加工及びそれに用いる材料の輸出入
・合成樹脂、金属、紙等に対する抗菌・除菌処理加工及びそれに用いる抗菌剤・除菌剤の販売・輸出入
・文具の企画・製造及び加工及び販売・輸出入
・損害保険代理業及び生命保険の募集に関する業務
・前各号に付帯する一切の業務

代表取締役社長 杉山 光治
従業員数 130名

社員日記 産業交流展2015で 学んだ事

11.19 東京ビックサイト
営業企画 野村 正和



日頃より、当社商品・製品をご愛用頂き、並びに当社情報誌あんずだよりをご覧頂き誠にありがとうございます。

今回、東京ビックサイトに於いて11月18日〜20日に開催された第18回中小企業による国内最大級のトレードショー「産業交流展2015」に伺いました。こちらの展示会は中小企業の販路拡大や、企業間連携の実現、情報収集・交換のビジネスチャンスの拡大を目的として行われております。テーマが「情報・環境・医療・福祉・機械・金属」と4つに分かれており、各企業とも非

常熱のこもったトレードショーになっていると感じました。

会場内に入り周りを見渡すと、高度技術を駆使したロボット・職人の技術・技法の伝統工芸品・新製品アプリや多様性に優れた日本ファッション・フードコートの日本食と産業交流展と名前の通り業種は多岐に渡っていました。

「医療・福祉」のゾーンで拝見した製品で私が多く目にした物が「見守り」と「健康増進・予防」です。「見守り」の中では遠隔服用サポートシステムと言う薬の時間になると光でお知らせしてくれて更に、飲み忘れ・飲み違い・服用時間などを瞬時に医療者のパソコン・タブレットなどに送られ遠隔で複数患者様の服薬状況を管理できるサポートシステムを拝見しました。

「健康増進・予防」の中では耳の中まで見える耳かきという興味深いプースがあり伺った所、耳かきの先端に小さなカメラがついていてPCやタブレットを通して15倍の大きさに拡大出来る、静止画像として保存が出来る製品でした。耳かきほどの大きさのカメラとそれに多機能を付けた技術に只脱帽いたしました。

その他、塩分濃度測定器や血管や血流の変化を簡単にチェックする物が販売促進ツールとして活躍していて私達のかゆい所に手が届く技術が多数ここに存在しました。

ある企業では「明日の飯の種を共に創ろう」と記してありました。世の中のニーズが変わる速度が上がると、全体の技術も向上している中で、追いつけ追いつけの競争が続く、突然今まで売れていた製品が売れなくなるほど、明日が見えないのも現状だと感じました。そんな緊迫した状況の中で沢山の開発商品を世に送り出す日本の中小企業の技術とアイデアの凄さを感じた展示会でした。

「健康増進・予防」の中では耳の中まで見える耳かきという興味深いプースがあり伺った所、耳かきの先端に小さなカメラがついていてPCやタブレットを通して15倍の大きさに拡大出来る、静止画像として保存が出来る製品でした。耳かきほどの大きさのカメラとそれに多機能を付けた技術に只脱帽いたしました。

その他、塩分濃度測定器や血管や血流の変化を簡単にチェックする物が販売促進ツールとして活躍していて私達のかゆい所に手が届く技術が多数ここに存在しました。

ある企業では「明日の飯の種を共に創ろう」と記してありました。世の中のニーズが変わる速度が上がると、全体の技術も向上している中で、追いつけ追いつけの競争が続く、突然今まで売れていた製品が売れなくなるほど、明日が見えないのも現状だと感じました。そんな緊迫した状況の中で沢山の開発商品を世に送り出す日本の中小企業の技術とアイデアの凄さを感じた展示会でした。

